

令和6年度茨城県芸術祭・県民コンサートⅡ **日本の歌 声楽演奏会**

第45回記念演奏会 ～日本歌曲の生い立ちを辿って～



ピアノ・指揮 塚田佳男

特別出演 塚田佳男
独唱 清水良一 茅根順子
辻弘子 落合真希子 助川智子 小川晃平
合唱 野ばら会 水戸うらら女声合唱団
五軒童謡を歌う会 みと葵女声合唱団
アンサンブル童
ピアノ 田中直子 豊田博子 小沼富美枝

第Ⅰ部 日本歌曲を生んだ作曲家と詩人たち

山田耕筰 かやの木山の この道 砂山
あわて床屋
風に寄せて歌へる春の歌 他

第Ⅱ部 童謡・流行り歌・新民謡

中山晋平 野口雨情童謡メドレー 砂山
成田為三 かなりや
杉山長谷夫 出船 他

第Ⅲ部 中澤敏子先生の愛した歌の数々

信時潔 沙羅 小倉百人一首より
中田喜直 歌をください
小林秀雄 落葉松
他



Bar.清水良一



Mez.茅根順子



Sop. 辻弘子



Mez.落合真希子



Sop.助川智子



Bar.小川晃平

2024年 **12月1日** (日) ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホール

14:00 開演 (13:30 開場) 一般2,000円 / 学生1,000円 (当日2,500円 / 1,500円)

チケット取り扱い (10/10より) ザ・ヒロサワ・シティ会館 / 水戸京成百貨店 / かわまた楽器

ヤマハミュージックリテイリング水戸店 / 日立シビックセンター

主催 : 茨城県 / 茨城県教育委員会 / 茨城文化団体連合 / 茨城県教育財団 / いばらき文化振興財団 / 茨城新聞社 / 日本の歌 声楽演奏会実行委員会

共催 : 水戸市 / 水戸市 教育委員会

問合せ : 日本の歌 声楽演奏会実行委員会 080-5052-8748 (辻)

第45回 日本の歌 声楽演奏会

「日本の歌 声楽演奏会」は、野ばら会（昭和38年設立）により、1978年茨城県芸術祭参加演奏会として第1回目が開催されました。

「日本古来の和歌より現代に至る美しい言葉・詩に作曲された日本の歌を紐解き、その時代に合った美しい表現とはどうあるべきか」という理念のもと、「洋楽と邦楽の交流」「洋楽としての日本歌曲」「若いも若きも世代を超えて」という三つの視点に立ち、長年にわたり地域の皆様に親しまれる演奏会として続いてきました。県外からの出演者も数多く、プロ・アマや世代の垣根を越えて毎回地元の音楽家たちとの交流が深められ、暖かな雰囲気での演奏会でもありました。

今回は、本年4月に逝去した前野ばら会代表中澤敏子氏とも交流が深く、本演奏会に10回以上ご出演されてきた塚田佳男氏をお迎えし、第45回記念演奏会として開催致します。

#####

塚田佳男 (Yoshio Tsukada ピアノ・指揮)

群馬県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。
二期会等でオペラや各種コンサートの伴奏・コレペティトウアを務めた後、75年から77年までドイツ・デトモルトにてピアノ・オルガン・伴奏法を学ぶ。
帰国後から現在に至るまで歌を知りぬいた繊細な音楽性で、特に日本歌曲の研究、解釈、伴奏においては現在日本の第一人者としての活動を続けている。
畑中良輔氏と共に企画・構成に携わり、その伴奏の殆どを受け持ってきた、93年より続く音楽の友ホールでの《日本歌曲シリーズ》を代表に、日本歌曲や日本の歌による演奏会での企画構成と演奏は、国内はもとより海外においても高い評価を得ている。
様々な歌手の伴奏を務めたCDは多数リリースされている。また、セミナー等での講師としての活動も、日本歌曲の歌唱法および伴奏法の指導を中心として全国各地で行っており、多くの歌手とピアニスト達を育成している。
96年上毛芸術奨励賞、及び99年に設立の歌曲伴奏者に対する賞『水上達夫賞』の第一回受賞者。日本演奏連盟所属。

#####

清水良一 (Ryouichi Shimizu バリトン)

武蔵野音楽大学卒業。同大学院修了。
第66回日本音楽コンクール第2位、第10回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位受賞。
2000年には文化庁芸術家在外研修員としてイタリアのフィレンツェにてフェドーラ・バルビエリ女史のもと1年間研修を行う。
オペラでは、藤原歌劇団、日本オペラ協会、日生劇場オペラ、びわ湖ホールオペラ、サントリーホールオペラ、藤沢市民オペラ、水戸芸術館市民オペラ公演などに出演したのをはじめ様々なプロダクションにて数多くのオペラに出演。ルーマニア国立イアシ歌劇場には「リゴレット」のタイトルロールで出演。さらにカヴァーとして新国立劇場、サイトウキネンフェスティバルなどに参加。
コンサートでは、音楽の友ホールでの日本歌曲シリーズなどをはじめ「第九」や宗教曲のソリストとしても様々な演奏会に出演している。藤原歌劇団団員、日本オペラ協会会員。日本歌曲振興波の会理事。

茅根順子 (Junko Chinone メゾ・ソプラノ)

茨城県立水戸第二高等学校入学後、中沢敏子に師事して声楽を始める。東京音楽大学声楽科にて市川倫子に師事する。卒業後、高等学校音楽教諭として勤務する傍ら、コンサート活動を続ける。1991年オーストリア・ウィーン国立音楽大学でドイツリートを研鑽。
水戸芸術館「茨城の名手・名歌手たち第9回」に出演。音楽之友社主催「IOX-AROSA 声楽セミナー」を受講し、音楽の友ホールにて発表コンサートに出演。榛名「日本の歌」セミナー、「日本歌曲ゼミナール」、畑中良輔の「日本の歌」セミナーを受講。96年より常陸大宮市文化センターにて「茅根順子リサイタル」を5回開催。2017年、23年に6、7回目のリサイタルを水戸芸術館にて開催。05年第16回奏楽堂日本歌曲コンクール第3位入賞。08年音楽の友ホールにおいて、シリーズ〈日本歌曲と音の魔術師たち〉に出演。塚田佳男、中沢桂、青山恵子、瀬山詠子に師事する。現在、茨城県立水戸第三高等学校音楽科非常勤講師
